

羽ばたけ!羽島っ子 4月号

いちき串木野市立羽島小学校
公式ブログ好評配信中 <http://hashima.synapse-blog.jp/hashimasyo>



創る

校長 西村 喜一

「こん19人の薩摩藩士のおいたが、古か日本をうっこわして、新しか日本の未来をつくったため、いっばんさきに世界に飛び立っど!チェスト!」という言葉が発したかどうかは定かではありませんが、私たちの羽島から150年以上前に世界に飛び立った若き薩摩藩士の偉業を称えた「黎明祭」が、先日開催されました。写真は、その時の様子です。小中学生が、薩摩藩英国留学生19名に扮して、自己紹介をしたり自分の夢を発表したりしました。自分の夢を声高らかに語ることの素晴らしさを実感できた時間でした。

さて、令和3年度がスタートして、3週間が過ぎようとしています。児童数は、昨年度と同様の52名ですが、今年度は5・6年生が複式学級となり、学級数が6つになりました。それに伴い職員も1名減となり、児童・職員合わせて65名での令和3年度の船出です。

昨年度の学校教育目標は「確かな学力と豊かな心を持ち、主体的に行動できるたくましい子供を育てる」でした。今年度は、「**主体的に行動し、確かな学力を身に付け、豊かな心を持ち、たくましく生きる子供を育てる**」としました。使っている言葉にあまり変化はありませんが、「主体的」という言葉を最初にもってきたところに今年度の学校経営への「念(おも)い」を表現しています。

本校の児童の良さは、「素直で、何事にも一生懸命に取り組める」ところです。逆に足りない部分は、「いろいろな場面で、自分の考えや思いを率先してはっきりと伝える姿があまり見られない」ことです。これからの時代は、周りのことを考えつつも、自分のことをしっかり主張できることが大切です。そうでなければ、目まぐるしく変化する時代に対応できなくなるからです。このことは、中学校も同様の課題と捉えており、小中一貫教育のテーマでも「**主体的な態度で活動に取り組む児童生徒の育成**」としています。つまり、今年度のキーワードは、「**主体的**」です。小学校では、昨年度から新しい学習指導要領がスタートしていますが、その中のキーワードも「**主体的・対話的で深い学び**」であり、「主体的」という言葉が使われています。この「主体的」というキーワードを、子供たちにしっかり意識させるために、始業式で「主体的」について話をしました。ただ、この言葉は低学年にはとても難しい言葉です。そこで、次の5つのレベルで説明しました。

まずは、『**自分でやる**』です。「朝、自分で起きる」「明日の準備は、自分でやる」「洗濯物は、自分でたたむ」など、自分でできることは自分でやれるようになることが、レベル1です。

次に、『**自分がやる**』です。親や先生から頼まれたこと、学級などでやらなければならないことなどに対して「自分がやります!」と積極的に進んでやれるようになることが、レベル2です。

更に、『**自分からやる**』です。例えば、教室にゴミが落ちていたら、それに自分で気づき「自分から拾う」、当番が板書を消すのを忘れていたら、それに自分で気づき「自分から消す」など、いろいろなことに自分で気づき、考え、実行できるようになることが、レベル3です。

そして、『**自分たちでやる**』です。例えば、最近、学習準備がしっかりできず授業の始まりが遅れてしまうことが多いとか、一人一人の整理整頓ができておらず教室全体が雑然としているなどと感じたら「自分たちの問題」と捉え、クラス全員できちんとできるようにすることが、レベル4です。

最後は、『**自分たちで創る**』です。学級・学校の仲間たち全員が楽しく過ごしやすい学校の生活環境を整えたり、みんなが率先していろいろなことにチャレンジできる雰囲気にしたりするなど、自分たちの羽島小学校をより良い学校に創り上げることが、レベル5であり、目指す児童像の今年度のゴールです。

英国留学生の19名は、きっと「**新しい日本を創る**」という強い信念をもって、意を決して旅立ったことは間違いありません。その先人の思いを受け継ぎ、羽島小の子供たちにも、「**新しい羽島小を創る**」「**新しい自分を創る**」という強い気概をもって、毎日過ごしてほしいと願っています。

最後になりましたが、保護者・地域の皆様、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。新しい羽島小に乞うご期待!

「**よろしくおねがいします!**」 **新しい先生がやって来ました。**
今年度、新しく2名の先生方が羽島小学校に赴任されました。よろしくお願いいたします。

職名	氏名	前任地
教頭	元山 智徳	徳之島町立母間小学校
教諭	下酔尾 洋子	いちき串木野市立生福小学校



令和3年度の学校経営について

本年度の学校教育の重点を掲載いたします。

1 学力の定着と向上

- 学力定着を図る「分かる授業」「できる授業」の実践
- 複式学級での学習指導への対応(基本的な学習の躰の徹底と系統的な学びの育成)
- ICTを活用した授業等の実践
- 特別支援教育の視点に立った少人数のよさを生かした教育活動「個に応じた指導」「個別支援」の充実
- 家庭学習の充実による自己教育力の育成

2 心の教育の推進

- 自治力を高める係活動・児童会活動の推進
- あいさつ(先どり・ピタット・はっきり・学年越え・街なかなど)の実践
- 特別の教科道徳の完全実施と「考え議論する道徳」の実践及び評価の工夫
- いじめ及び不登校への徹底した対応
- 人権意識を高める活動や研修の充実
- 読書活動の充実
- 教育環境の整備・充実

3 たくましい心と体の育成

- 教科体育における運動の楽しさを味わう学習の充実と運動時間の確保
- 体育指導における主体的に運動に親しむための継続的な運動の奨励
- 基本的な生活習慣の確立
- 事故0への取組

4 特色ある教育活動の推進

- 学校の良さを生かした教育活動の充実と愛郷心の涵養
- 一小一中のよさを生かした小中一貫教育の充実
- PTA・地域と連携した活動の推進

本年度も羽島小学校の教育活動に御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

よろしくおねがいします~令和3年度職員~

校長	西村 喜一	養護	原田 珠代
教頭	元山 智徳	事務	佐賀 昭信
1年	大石 裕見子	主事	内村 久美
2年	東山崎 洋一	図書	平石 智子
3年	宇都 有咲	音楽	城野 盛雄(羽島中)
4年	藤山 樹	支援員	中馬 香織
5年	山下 真也	外国語(外部)	外園 恵里子
6年			小屋 友美
海の子	下酔尾 洋子		キヨミ・アン・ヒダカ

4月18日、留学生記念館において黎明祭が実施されました。5・6年生と中学生が留学生に扮して自己紹介を行いました。



入学式 ~9名が入学しました~

4月6日に入学式が行われました。とても元気で、目がキラキラと輝いた9名が入学しました。全員が堂々とした姿で入場し、落ち着いた態度で式に臨むことができました。



交通教室を行いました。

4月15日に交通教室を行いました。学年初めの大切な時期に横断歩道の渡り方や正しい自転車の乗り方の確認を行いました。実際に横断歩道で渡り方の練習をしたり、校庭の模擬道路で自転車の発進確認の仕方を練習したりしました。子供たち自身が主体的に取り組めるように今年度は「命を守るノート」を作成し活用しています。全員が危機管理意識を持って生活できるように大切なことを学ぶことができました。



「命を守るノート」 横断歩道の安全な渡り方



- 8日(土) 土曜授業
- 19日(水)~20日(木) 修学旅行
- 20日(木) 春の一日遠足
- 23日(日) PTA資源回収